

映画づくりの

エキストラ・スタッフ



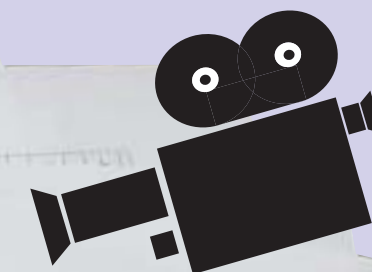
8月17日(金)
まで

映画「鬼の城」の制作に協力してくれるエキストラ（出演者）やボランティアスタッフなどを募集しています。

- 対象 市内に在住か在勤、在学の人
- 申込方法 住所、氏名、年齢、電話番号、Eメールアドレスを電話かホームページ（<http://www.kibiji.ne.jp/sojafc/index.html>）で申し込む
- その他 ①申込後の連絡や情報提供はEメールで行います ②企業として協力してくれる「企業サポーター」も募集中

申込先・問い合わせ そうじゃフィルムコミッション
(☎92-1122、総社商工会議所内)

昨年の12月に行われた「そうじゃシナリオ・小説コンテスト」で、応募総数30点のなかから大賞に選ばれた『鬼の城』の原稿



総社市を舞台に市民参加型で作る

映画「鬼の城」制作決定

「そうじゃフィルムコミッション」が、総社市を舞台とした映画を市民参加で制作します。

プロジェクト名は、「ラブ総社プロジェクト」（略称ラブプロ）。総社を好きになってもらう取り組みです。

そうじゃフィルムコミッションが昨年公募した「シナリオ・小説コンテスト」の大賞受賞作品『鬼の城』（星乃ひかるさん（ペンネーム・浅口市）作）の映画化が決まり、来年3月の完成を目指して制作が始まりました。

映画は、30分以内のショートムービーを予定しています。タイトルは原作と同じ「鬼の城」に決定。鬼ノ城や宝福寺などを舞台に、少年と少女のひと夏の出会いの物語を描きます。撮影は8月から行います。

制作は、脚本づくりや撮

る制作の舞台裏や秘話を紹介するドキュメンタリーも制作する計画。ショートムービーとともに、平成25年5月開催の「総社芸術祭」で上映する予定です。原作者の星乃さんも、「映画化

が決まり、とてもうれしい。自分の作品がどのように映像化されるのか楽しみにしています」と、完成を心待ちにしています。

そうじゃフィルムコミッションは平成20年3月に発

原作に登場する宝福寺（写真上）と鬼ノ城西門（写真左）

原作『鬼の城』
作者 星乃ひかるさん
(ペンネーム・浅口市)

原作のあらすじ

心に影のある不登校の少女が、鬼ノ城で温羅と名乗る少年と出会う。少年と会うたび、少女は不思議な思いに包まれ、次第に心に光がさしてくる。最後に彼が同じ学校の生徒だと分かり、病気治療のため遠くへ行ってしまったことを知る。

そして二人の別れ。

少年と少女の一夏の甘酸っぱい初恋物語。



ラブ総社プロジェクトのメンバーによる打ち合わせ会議が、6月20日に総社商工会議所で行われた。会議では、映画制作に向けて、熱の入った話し合いが夜遅くまで続いた